

<中皮腫およびアスベスト関連疾患に関する研修での講義>

5 月 8～10 日にラオスで、5 月 13～15 日にベトナムでそれぞれ開催された中皮腫およびアスベスト関連疾患に関する研修会にて、「日本のアスベスト使用の歴史とアスベスト関連疾患」および「アスベストを取り扱う職場での産業保健管理について」というテーマで、森本 泰夫 教授（呼吸病態学）による 2 件のメディア講義を提供しました。

本研修は、本学が協力・連携に関する覚書を締結しているオーストラリアのアスベスト及び粉じん疾患研究所（ADDRI）がラオス、ベトナムでそれぞれ主催したもので、ADDRI は本学産業生態科学研究所と同じく、産業保健分野の WHO 指定協力機関であることから、今回の連携が実現しました。ラオスでは計約 70 名、ベトナムでは計 50 名の病理、放射線、腫瘍学および患者ケアを担当する医師等が参加しました。

